

二十九人の喧嘩状（1957）

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 91分

初公開日 1957/06/04

【解説】

「朱雀門」「源氏物語 浮舟」の八尋不二によるオリジナル脚本を、「踊り子行状記」の安田公義が監督した、清水次郎長外伝の映画化。勝新太郎が主人公の子分を演じ、劇中では歌声も披露している。

吉良港の侠客である仁吉は、同じ侠客である安濃徳次郎の妹のおきくと結婚し、仲むつまじく暮らしていた。仁吉はその度胸と腕っぷしの強さから、やがては親分になると見られていた。だが仁吉の弟分である長吉が安濃徳次郎とトラブルを起こしてしまう。二人の言い分を聞いた仁吉は、非を認めぬ徳次郎を許すことができず、ついにはおきくと別れることにした。事の次第を知った次郎長の子分たち28人は仁吉に加勢し、荒神山で徳次郎たちと一戦を交えることになった。

【クレジット】

監督 安田公義

製作 武田一義

企画 浅井昭三郎

脚本 八尋不二

撮影 牧田行正

美術 上里義三

音楽 高橋半

出演 市川雷蔵

瑳峨三智子

勝新太郎

阿井美千子

林成年

春風すみれ

黒川弥太郎

千葉登四男

杉山昌三九

山路義人

入江たか子

浦辺条子

江島みどり

潮万太郎

光岡龍三郎

東良之助

南部彰三

上田寛

天野一郎
石原須磨男
尾上栄五郎
南条新太郎
高倉一郎
藤間大輔
原聖四郎
伊達三郎
玉置一恵
藤川準
菊野昌代士
越川一
浜田雄史
愛原光一